2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科目	区	分	専門分野	授業の方法		演習
科目名	測定評価Ⅱ		必修/追	曳択0	ŊŊ	必修	授業時数(単位数)	30	(1) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及7	び曜日	寺限	後期	教室名		402
担当教員	岡山 雄太	実務経験と その関連資格	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、はり師、きゅう師として野球やソフト ボールのチームで帯同トレーナーとして活動中						

《授業科目における学習内容》

アスレティックトレーナーが評価を進める上で必要となるスポーツ動作の観察・分析について、その目的と意義を理解し、6 つのスポーツ基本動作についてそのバイオメカニクス、動作に影響を与える機能的と体力的要因を説明できる能力を習得 し、理解出来るようになる

《成績評価の方法と基準》

定期試験:70%、出席率:20%、小テスト:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5「検査・測定と評価」

《授業外における学習方法》

解剖学、運動学、運動生理学などの基礎知識が不可欠な為、これらの基礎知識について繰り返し復習しておくこと

《履修に当たっての留意点》

具体的に動作の評価ができるまでが到達目標となっている為、講義・実技ともに重要となります。

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1	講義	授業を 通じての 到達目標	評価におけるスポーツ動作の観察・分析についてその目的と 意義を理解し、説明出来るようになる	声明利日示とつ	あらかじめテキストに目 を通してくる	
	我形式	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、評価におけるスポーツ動作の観察・分析の 目的と意義			
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	歩行動作のバイオメカニクスを理解し、説明できるようになる	専門科目テキスト	機能解剖学の復習	
2回	個習形式	各コマに おける 授業予定	歩行動作のバイオメカニクス	サロイイAN 5		
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	歩行動作に影響を与える機能的・体力的要因を理解し、説明 できるようになる	声明到日ニナコ	比欠動版のぶりよりよ	
回用	興習形式	各コマに おける 授業予定	各コマに おける 歩行動作に影響を与える機能的・体力的要因		歩行動作のバイオメカ ニクスの復習	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	外傷・障害の発生機転となる歩行メカニズムを理解し、説明できるようになる	市田利口ニよっ	上に動作のパノナノキ	
4	興習形式	各コマに おける 外傷・障害の発生機転となる歩行メカニズム、歩行観察の実践		専門科目プキ <i>ス</i> ト 5	歩行動作のバイオメカ ニクスの復習	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	走動作のバイオメカニクスを理解し、説明できるようになる	声明科日ニナコ	歩行動作について理解 しておく。	
5	習形	各コマに おける 授業予定	走動作のバイオメカニクス	専門科目アキスト 5		

	受業の大方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
講義演		授業を 通じての 到達目標	走動作に影響を与える機能的・体力的要因を理解し説明でき るようになる	恵明私日テキフト	走動作のバイオメカニク	
6 回	個習形式	各コマに おける 授業予定	走動作に影響を与える機能的・体力的要因	号川村日ノイ Aト 5	定動作のハイオメガニク スの復習	
第	講義演	€ 到達目標 できるようになる		市田科ロニナコ	土利佐のベルント	
/ 回 用	 預習形式	各コマに おける 授業予定	外傷・障害の発生機転となる走動作のメカニズム、走動作の観察	専門科目プ <i>キス</i> ト 5	走動作のバイオメカニク スの復習	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	通じての「こう」というなる		歩行、走動作のメカニズ ムを理解しておく。	
8		各コマに おける 授業予定 ストップ・方向転換動作のバイオメカニクス				
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	通じての 【説明できる。また、外傷・障害の発生機転を理解し説明できる		ストップ・方向転換動作 のバイオメカニクスを理 解しておく。	
9		各コマに おける 授業予定				
第	講 授業を 通じての 到達目標		跳動作のバイオメカニクスを理解し、説明できるようになる	恵明私日テキフト	ストップ動作を理解して	
10回	興習形式	各コマに おける 授業予定	跳動作のバイオメカニクス	与い付日/イ ハ ト 5	ストツノ 動作を理解して おく。	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	跳動作に影響を与える機能的・体力的要因を埋解し説明できるようになる。また、外傷・障害の発生機転を理解出来るようになる	再組刹日亭キコ	跳動作のバイオメカニク スの復習	
11 ^佐 習 回 形	興習形式	各コマに おける 授業予定	跳動作に影響を与える機能的・体力的要因、外跳動作の観察	専門科目7 ヤ スト 5		
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	投動作のバイオメカニクスを理解し説明できるようになる	専門科日テキスト	投動作の映像資料を調	
12 回	習形式	各コマに おける 授業予定 と関節の運動学、関節可動域検査		5	文期作の映像資料を調べておく。	
第	講義演	授業を 適じての 到達目標 おろようになる。また、外傷・障害の発生機転を理解できるように なる		専門科目テキスト 5	投動作のバイオメカニク スを理解しておく。	
13 回	習形式	各コマに おける 投業予定 投動作に影響を与える機能的・体力的要因、投球動作の観察				
第	講義演	授業を あたり動作のバイオメカニクスを埋解し、説明できるよっになる。 あたり動作に影響を与える機能的・体力的要因を理解し説明できるようになる。		宙田利日ニキフ)	あたり動作の映像資料	
14 [2]	興習形式	各コマに おける 授業予定	あたり動作のバイオメカニクス、あたり動作に影響を与える機能的・体力的要因を説明できる。	専門科目7 イ スト 5	めたり動作の映像資料を調べておく。	
第	演羽			車田科日テキフレ	後期で行なった内容の 復習	
15 回	習形式			専門科目アキスト 5		